

1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

Point !

- ・ 修学困難な生徒・学生に対する学習機会の拡充や読書活動の充実
- ・ 子どもの放課後の居場所の拡大や子どもの権利の尊重を推進

未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実

主要事業	予算額(千円)
市立札幌大通高等学校整備	2,453,000
奨学金支給	78,814
幼児教育センター関係事業	13,500
特別支援教育支援員活用事業	72,200
外国語指導助手関係	256,545
小学校改築	1,668,000
子どもの読書活動促進プラン関連	13,000
運動部活動外部顧問派遣モデル事業	3,600
子どもの美術体験事業費補助	3,800
キタラファーストコンサート事業費補助	27,851
児童家庭支援センター運営費補助等	30,445
児童会館運営管理	2,313,284
ミニ児童会館施設設備整備	121,100
子どもの権利推進事業	7,900
子どもの権利救済機関運営管理	45,100
全国自治体シンポジウム開催	1,350

:新規事業、 :ヘルアップ事業

● 奨学金の支給対象者を拡大

奨学金支給

能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な学生又は生徒に対する奨学金について、第2次新まちづくり計画による増員及び新基金設立に伴う増員により支給枠を1,000人に拡充します。



287人分増

● 平成22年3月新校舎竣工

市立札幌大通高等学校整備



生徒の多様な学習ニーズに柔軟に対応するため、市立高等学校4校の定時制課程を発展的に再編し、旧大通小学校校舎を暫定活用して20年4月に開校した市立札幌大通高等学校。22年3月の新校舎竣工を目指して、PFI手法により建設工事等を実施します。なお、新校舎には引き続き市立中央幼稚園を併設します。

● 特別な支援が必要な子どもへ体制を強化

特別支援教育支援員活用事業

通常の学級に在籍する発達障がいなどの特別な支援を必要とする子どもに学習活動上の支援などを行うため、特別支援教育支援員(学びのサポーター)の配置校数を拡大します。

120校 180校に拡大



● 学校改築による学習環境の充実

小学校改築

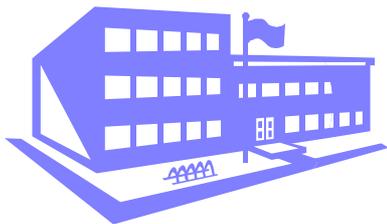
老朽化した平岸西小学校の改築工事のほか、桑園小学校の改築に向けた実施設計を行います。

平岸西小学校

敷地：豊平区平岸1条15丁目
校舎：RC造4階建 延床面積6,554㎡
平成22年3月新校舎竣工予定

桑園小学校

敷地：中央区北8条西17丁目
校舎：RC造5階建 延床面積9,291㎡
平成23年3月新校舎竣工予定



● 子どもの美術体験を拡大

子どもの美術体験事業費補助

小学校にアーティストを派遣したり、小学生を美術館に招待するための支援を行います。



● 子どもの権利の推進

子どもの権利推進事業
子どもの権利救済機関運営管理
全国自治体シンポジウム開催

平成20年第3回定例市議会において制定された、「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」に基づき、条例・条約の広報・普及や、子どもの参加機会の促進、子どもの権利救済機関の設置のほか、9月には本市で「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムを開催し、子どもの権利を尊重する社会を実現するための取組を行います。

札幌市子ども議会の様子



● 子どもの読書を支える

子どもの読書活動促進プラン関連



「学校図書館サポートシステム」「家庭読書本のリサイクル交換市」「学校と地域書店との連携事業」を展開します。学校図書館サポートシステムでは、学校図書館活用のためのアドバイザーやボランティアを派遣し、児童生徒の読書意欲を高めていきます。

また、併せて学校図書館の図書整備率の向上を図るため、家庭等で眠っている図書を再活用する「さっぽろ図書再活用パートナーシップ事業」を推進するほか、計画的な図書購入を行います。

● 運動部を活性化させます

運動部活動外部顧問派遣モデル事業

顧問の担い手不足により減少する中学校運動部活動を活性化させるために、退職教員を顧問とするモデル事業を実施します。



● 児童家庭支援センターを拡充します

児童家庭支援センター運営費補助等

児童相談所と連携して、児童虐待・非行・いじめ・不登校・保護者の子育て不安などの複雑多様化する児童問題に関して、身近な地域で24時間体制で相談、援助を行う児童家庭支援センターを拡充します。



2か所⇒3か所

● 放課後の居場所づくりを進めます

ミニ児童会館施設設備整備

子どもたちの放課後の居場所づくりを進めるため、小学校の余裕教室の活用や増築等によりミニ児童会館を整備します。

53か所⇒60か所



2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

Point



- ・市民自治の実践による地域づくりと地域の連携によるまちづくりの推進
- ・中小企業への支援の充実と各世代が安心して働ける環境づくりの推進
- ・札幌の都市イメージを活用した産業振興と札幌の優位性を活かした企業の誘致

	—主要事業—	予算額 (千円)
市民の主体的な地域づくりの支援	○まちづくりセンター地域自主運営化推進	40,500
	地域特性に応じた土地利用の再構築事業	10,000
	区民協議会設置推進	1,000
	大学と地域の連携による都市再生の推進	4,000
	○市民まちづくり活動促進総合事業 (基金造成費含む)	47,000
札幌の経済を支える企業・人の支援	◎景気対策緊急支援資金貸付	11,739,500
	元気がんばれ資金貸付	2,109,070
	中小企業金融対策資金貸付	71,382,000
	中小企業ネットワーク構築・推進事業	27,952
	アジア圏等経済交流促進事業	38,758
	○若年層就業促進事業	29,510
	◎離職者向け再就職サポート事業	5,636
◎ものづくり産業連携促進事業	14,400	
札幌らしい新産業の育成と企業の誘致	◎札幌・石狩広域連携企業誘致推進事業	3,600
	◎地産地消都市推進事業	3,500
	◎さっぽろスイーツカフェ運営費補助	8,750
	◎「北海道の食を愛するまち」情報発信拠点支援事業	8,500
	◎さっぽろブランド魅力発信事業	11,500
	◎食品産業開発支援事業	15,000
	◎札幌広域圏安全安心の地産地消推進事業	12,500
	◎農商工連携ファンド貸付	100,000
	◎国際共同映像制作事業	3,000
	◎映像スタジオ立地調査	3,000

◎:新規事業、○:レベルアップ事業

● 市民のまちづくり活動を総合的に促進

市民まちづくり活動促進総合事業

市民まちづくり活動促進条例に基づき、情報、人材、活動の場、資金の4つの支援を総合的に実施し、市民のまちづくり活動を促進します。中でも、資金面での支援では、市民の皆さんや企業からの寄附を活用し、まちづくり活動を行う団体に対して助成を行います。

寄附金目標 3,000万円!

みなさんの寄附をお待ちしています

《キャッピー》



● 地域が自主的にまちづくりセンターを運営

まちづくりセンター地域自主運営化推進

地域の主体的なまちづくりを推進するため、まちづくりセンターの運営を希望する地域に委ねるとともに、自主運営実施地域に対する新たな助成金制度を創設し、地域の目標や課題の解決に向けた活動を確実に実施することができるよう支援します。

まちセン



3地区→6地区

地域の課題をいっしょに考えよう！

《じっちい》

《まっちい》



● 景気対策緊急支援資金を加え、中小企業向け融資をさらに拡充！！

中小企業金融対策資金貸付

地域経済を支える中小企業の資金調達の円滑化を図るため、融資枠を大幅に拡大します。中小企業のニーズにあった、きめの細かい支援を行う「元気がんばれ資金」を引き続き継続するとともに、新たに「景気対策緊急支援資金」を創設し、昨今の金融環境の悪化により影響を受けている市内の中小企業者に対して万全の対策を実施します。

融資枠

1.863億円→1.984億円

うち、景気対策緊急支援分
200億円

〈景気対策緊急支援資金〉

○対象：原材料価格の高騰等により経営環境が悪化し、必要な事業資金の円滑な調達に支障を来している中小企業者等

○融資限度額：3千万円（融資枠：200億円）

※原則無担保、無保証人、保証協会による保証付（信用保証料については札幌市が1/4補給）

● 道産品の地産地消

「北海道の食を愛するまち」情報発信拠点支援事業

「北海道の食を愛するまち 札幌」をスローガンとして、道産品の地産地消促進キャンペーンを展開するとともに、地産地消促進を目的とした取組みを行う団体に出店支援を行います。

「北海道の食」発信



● 都心から「さっぽろスイーツ」を発信

さっぽろスイーツカフェ運営費補助

「さっぽろスイーツ」を振興するため、運営協議会が都心部に市内洋菓子店のスイーツを集め、PRや販売を行う店舗を整備、運営することに対して支援します。



《サミットさっぽろプリンパイ》

平成21年度
オープン

● 就業支援を充実

若年層就業促進事業 離職者向け再就職サポート事業

概ね35歳未満のフリーターや未就業者の就業意識の向上と就労の促進を目的として、就職応援イベント、インターンシップ、合同企業説明会など、様々なプログラムを実施します。また、現下の厳しい雇用情勢を踏まえ、離職者の就職を支援するため、再就職に有利な資格取得を目的とした技能習得型のセミナー等を実施します。



● 農商工の連携促進

農商工連携ファンド貸付

中小企業基盤整備機構、道、民間企業と連携し、ファンドを創設します。今後、ファンドの運用益は農商工分野で連携する企業グループに助成する予定です。

ファンド規模 25億円



3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街

Point



- ・高齢者の社会参加を一層促進するとともに、すこやかで安心な暮らしを支援
- ・障がい者の相談支援及び就労支援の体制を強化し、自立支援を促進

高齢者の地域生活支援の充実

—主要事業—	予算額（千円）
はつらつシニアサポート事業	22,877
◎ねんりんピック（全国健康福祉祭）開催事業	273,000
○敬老優待乗車証交付事業	4,555,712
高齢消費者被害防止ネットワーク事業	4,000
法人後見事業（社会福祉協議会運営費等補助）	4,500
○日常生活自立支援事業（社会福祉協議会運営費等補助）	41,987
特別養護老人ホーム新築費補助	120,000

障がい者の自立支援の促進

障がい者グループホーム・ケアホーム設置費補助	6,000
◎ケアホーム等新築費補助	25,000
○障がい者相談支援事業	188,768
○地域活動支援センター（相談支援併設型）運営費補助	61,490
○障がい者協働事業運営費補助	62,325
◎地下鉄中の島駅エレベーター設計	24,000
◎のぞみ学園改修	117,800
○交通バリアフリー推進	91,600
○地区センター改修	52,400
○ユニバーサルデザインの公園づくり事業	376,790
○福祉と多世代のふれあい公園づくり事業【再掲】	96,600
誰もが歩きやすい歩行空間ネットワーク創出事業	1,041,000
○厚別副都心地区街づくり事業	365,300

◎：新規事業、○：レバレッジ事業

敬老優待乗車証の利用上限額を拡大

敬老優待乗車証交付事業

70歳以上の高齢者の外出を支援し、明るく豊かな生活を送っていただくため、敬老優待乗車証の利用上限額を5万円から7万円に引き上げます。

利用額	自己負担額	助成額
10,000円	1,000円	9,000円
20,000円	3,000円	17,000円
30,000円	6,000円	24,000円
40,000円	8,000円	32,000円
50,000円	10,000円	40,000円

利用上限額を拡大

60,000円	13,500円	46,500円
70,000円	17,000円	53,000円

上限額2万円増



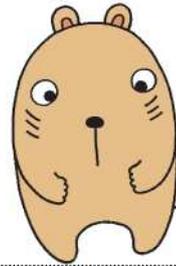
● ねんりんピック北海道・札幌大会を開催

ねんりんピック（全国健康福祉祭）開催事業

60歳以上の方を中心とするスポーツと文化、健康と福祉の全国規模の祭典、第22回全国健康福祉祭（「ねんりんピック北海道・札幌2009」）を、21年9月5日から4日間の日程で札幌市を中心に全道16の市町で開催します。

＜札幌市内で開催する種目と会場＞

- ・剣道（真駒内セキスイハイムアイスアリーナ）
- ・グラウンドゴルフ（つどーむ）
- ・サッカー（札幌ドームほか）
- ・水泳（平岸プール）



皆様のご来場をお待ちしています♪

ねんりんピック北海道・札幌2009
大会マスコットキャラクター：うっさん

● 特別養護老人ホームを新設

特別養護老人ホーム新築費補助

高齢者が要介護状態となってもできる限り住み慣れた地域で生活することができるように、地域密着型の小規模な特別養護老人ホームを整備します。

2か所増



● 障がい者の就労を支援

障がい者協働事業運営費補助

障害のある方の一般就労を促進するため、一定数の障がい者を継続して雇用する事業者に対して補助を行います。

7か所→8か所



● 障がい者の地域における自立した生活をサポート

障がい者グループホーム・ケアホーム設置費補助

ケアホーム等新築費補助

単身生活が困難な障がい者が地域で暮らすための居住の場として、食事の提供のほか、日常生活に関する相談や援助を行う障がい者グループホーム・ケアホームを整備・設置する団体に対して補助を行います。

新築1か所増



障がい者相談支援事業

地域活動支援センター（相談支援併設型）運営費補助

障がい者や家族にとっての身近な窓口として、各種相談や情報提供、在宅福祉サービスの利用援助等を総合的に行います。

13か所→14か所



● 障がいのある方にもやさしいバリアフリー化を推進

地下鉄中の島駅エレベーター設計

地下鉄中の島駅（真駒内方面側）にエレベーターを設置するための設計を行います。

23年度使用開始予定



交通バリアフリー推進

高齢者や障がい者の移動の利便性や安全性の向上を推進するため、駅のバリアフリー化やノンステップバス導入に対して補助を行います。

- ＜JR発寒駅＞（エレベーター、障がい者対応型トイレ）
- ＜JR厚別駅＞（エレベーター、障がい者対応型トイレ）
- ＜ノンステップバス導入＞（6台）